

4 参考資料 簡易草地更新機の特徴比較表

施工法分類	作溝(狭条)法		作溝(通常)法			穿孔法	部分耕耘法
機種名	OVERSEEDER	Herbamat	Seed matic	Pasture drill	Great Plains	Ground Hog	ニプロ
タイプ	12010, 12510, 12910	KHM250	3000シリーズ 3100シリーズ ランチャーモデル	10,13,16,19条	705NT	GH-8 GH-10	PRN-801
取扱会社	コーンズ・エージ	イセキ	Gallagher AGE	Newholand	IDEC	IDEC	松山製作所
作業幅(cm)	200,250,290	250	180,210,240,300	180,230,290,340	210	240 300	250
条間(cm)	7.5	8	15	18	18	20	27
畦(条)数	20、25、29	30	12,14,16,20	10,13,16,19	11	14	8
種子箱、畧	321,396,456	360	230,290,300,369	160,210,260,310	麦状600:(400) 細粒:58	80	(3,1)/条が 8組
肥料箱、畧	—		290,375,460	220,285,352,420	200 (麦状タンク内仕切)	なし	180
追従方式	ガイドシュー・スプリング 独立懸架	2 畦組独立懸架 油圧制御	スプリング 独立懸架	コイルスプリング (圧可変) 独立懸架	独立懸架	固定	並行リンク 独立懸架
播種深mm	15~20程度	15	20~40程度	表層~100	0~90程度	表層	15~30程度
作溝作成	ダブルコールド	ブレード	コールド+ インバートオープナー	コールド+ タンクステップオープナー	波刃コールド+ 2枚円盤オープナー	ナイフ状タイン 回転による穿孔	ダウンカット ロータリー
鎮 圧	水量調整式ローラ	鎮圧棒(タイン)	なし	なし	ディスク	なし	ディスク
所用馬力	70~	60~	60~	60~	80~	50~ 70~	60~
価格、千円	2,205~3,045	2,600	1,980~5,034	3,400	4,120	1150~2050 +323(シードボックス)	2,300

デモ走行時 (2003年8月7日 根釧農試調査データ)

施工法分類	作溝(狭条)法		作溝(通常)法			穿孔法	部分耕耘法
機種名	OVERSEEDER	Herbamat	Seed matic	Pasture drill	Great Plains	Ground Hog	ニプロ
タイプ	12010, 12510, 12910	KHM250	3000シリーズ 3100シリーズ ランチャーモデル	10,13,16,19条	705NT	GH-8 GH-10	PRN-801
取扱会社	コーンズ・エージ	イセキ	Gallagher AGE	Newholand	IDEC	IDEC	松山製作所
作業速度(km/h)		10.6	4.5	11.3	7.7	5.9	2.7
旋回時間(sec)		24	38	20	32	28	55
作業能率ha/hr		2強	0.8~1程度	2強	1.5程度	1~2程度	0.3~0.6程度
播種量キャリブレーション	タイヤ回転から	タイヤ回転から	レバー(タイヤ)回転から	タイヤ回転から	タイヤ回転から	種子ホップスリット (微細調整不可)	駆動輪回転から
種子回収	掃除機不要	掃除機不要	掃除機必要	掃除機必要	掃除機必要	掃除機必要	掃除機必要
取り付け	3点	3点	3点 トレール(牽引)	3点	トレール(牽引)	3点	3点,PTO

酪農情報を活用しましょう

酪農DBを活用して生産管理をモニタリングしましょう（21年3月現在利用実績 約16,698件）
 （酪農DBは各業務で蓄積されているデータの2次利用です。）
 このホームページから利用します。（申し込は最寄の農協又は根室生産連情報センターへ）

本システムは別海町事業で構築され事業終了後、農業改良普及センターの支援を受け地域を根室管内に拡大し、インターネット対応とし根室農業農村システムとして受け継がれています。

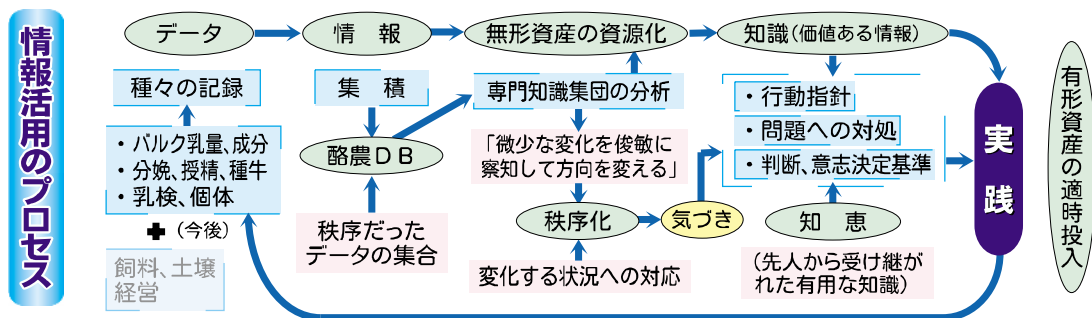
内容 種々データが参照、取得可能です。

主なるDB

365日間の日別出荷乳量、旬別出荷乳量、月別乳量
 授精データ、分娩データ、牛マスター、月別分娩、分娩予定頭数推定
 乳検個体データ、乳検群成績、年間検定成績表
 繁殖管理（再発、未授精、妊娠鑑定、分娩予定、乾乳予定、フレッシュチェック牛）
 （根室デーリィサポートプログラム基礎） NDS_PB

酪農DBの基本概念（コンセプト）

- 酪農家の承諾の元に関係者がネットワーク上で「情報」を共有するシステムです。
- 農協、管内での相対的な位置比較、自家牛群の過去からの推移（実際の数値、順位）を参照し、自家牛群のレベル掌握に努め経営改善に寄与するシステムです。



自分の経験と勘をデータで確認しましょう。
 できるだけ早く変化に**気づき**対応しましょう。